



資料 2 - 1

秩保第 7 2 4 - 1 号

令和元年 1 1 月 2 8 日

保健医療部長 様

秩父保健所長

埼玉県地域保健医療計画（第 7 次）の一部変更における  
秩父地域で不足する外来医療機能の記載について（報告）

平素、秩父地域の公衆衛生の向上に御支援を賜りお礼申し上げます  
標記について、埼玉県秩父地域保健医療・地域医療構想協議会長から別添のと  
おり意見が寄せられましたので報告いたします。計画策定に当たっては、十分御  
配慮いただきますようお願い申し上げます。

担 当：総務・地域保健推進担当 ふなざき 船崎

電 話：0 4 9 4 - 2 2 - 3 8 2 4

F A X：0 4 9 4 - 2 2 - 2 7 9 8



令和元年11月27日

埼玉県秩父保健所長 関井 秀明 様

埼玉県秩父地域保健医療・  
地域医療構想協議会長 近藤 俊夫

埼玉県地域保健医療計画（第7次）の一部変更における  
秩父地域で不足する外来医療機能の記載について（意見）

平素、公衆衛生行政の推進に御尽力いただき感謝申し上げます。

さて、標記について委員の意見を取りまとめました結果、計画本文への記載内容については事務局案のとおりで差し支えありません。

なお、委員から下記意見が寄せられましたので、秩父郡市医師会からの意見と併せて、十分御留意いただきますようお願い申し上げます。

#### 記

- ・ 秩父地域は山、川、谷などで物理的に交通網が分断された地域に住民が広範囲に点在しています。医療機関の偏在もあり、今後往診、在宅などの診療が多くなる時には、医療機関と患者さんとの絶対的な距離の問題は、他地域では想定できないような、医師や医療スタッフの移動時間の問題、効率の問題として顕著化してくるものと考えられます。
- ・ 医師会さん案にもあるように、救急、休日、準夜帯の輪番による薬剤師不足は否めない事実である。  
また、学校薬剤師や介護認定審査会についても同様である。

## 秩父地域において不足する外来医療機能について（案）

「外来医療に係る医療提供体制の確保に関する事項」において、各区域で不足する外来医療機能を記載するため、事前に秩父郡市医師会に対して意見照会を実施した。

### 1. 結果のまとめ

初期救急医療	在宅医療	公衆衛生			介護認定 審査
		産業医	学校医	予防接種医	
◎	◎	◎	◎	◎	◎

※回答の目安 ◎：とても不足していると感じる ○：やや不足していると感じる  
 △：あまり不足していると感じない ×：不足していると感じない  
 -：無回答・わからない

### 2. 寄せられた主な意見

#### 【初期救急医療】

医師会では休日診療所の医師二名体制、在宅当番医制、平日夜間小児初期救急医療体制への医師派遣等を実施しているが、会員の平均年齢も60歳を超え、日常診療や地域保健事業への執務に加えての救急業務は、会員並びに医療スタッフの慢性的な疲弊をもたらし、地域救急医療の存続を危うくしている。

#### 【在宅医療】

県内で最も高齢化率の高い地域であるため、必然的に在宅医療の需要も多いが、開業医の高齢化が進んでおり、在宅医療の可能な医師も極端に少なくなっている。

#### 【公衆衛生（産業医）】

地理的な事情により産業医講習会への参加が甚だ困難であることもあり、認定産業医が不足している。医師会としても人材育成・教育のための講習会や実地研修を行っているが、会員の高齢化や新規開業医の不足などにより認定産業医の確保が厳しい状況にある。

#### 【公衆衛生（学校医）】

管内全ての学校に学校医を派遣し学校保健における助言・指導を行っているが、現在でも欠員補充に四苦八苦している状況である。学校医の高齢化を考えると、今後ますます人員確保が難しくなってくると思われる。

#### 【公衆衛生（予防接種医）】

国の指導による個別接種化と予防接種の多様化により受託医療機関の負担が急激に

増大している。受託医療機関の増加も必要不可欠であるが、当地域では厳しい状況にある。

#### 【介護認定審査】

県内で最も高齢化率の高い地域であるため、必然的に介護認定申請者数が多いが、執務可能な医師の絶対数が不足しており、今後はますます厳しい状況となることが予想される。

#### 【その他】

- ・ 当地域は人口に対する医療機関数は一見充足しているかに見えるが、診療科の偏在や医師の高齢化により救急医療や在宅医療に従事する医師の絶対数が極めて不足している。
- ・ 広大な面積（埼玉県の四分の一）を有する医療圏であり、一人の医師の守備範囲が広く、時間的にも財政的にも非効率な診療形態をとらざるを得ない。
- ・ 当地域では二次救急輪番病院における看護師、薬剤師、検査技師、理学療法士等のパラメディカルの慢性的不足も深刻であり、一部救急病院は輪番制からの撤退も余儀なくされている。各診療所もそのあおりを受け、医療機関によっては必要なスタッフを確保できず、診療や検査に支障をきたす状況も出てきている。
- ・ 医師会が運営している秩父看護専門学校は少子高齢化の波を受け、年々入学者も減少している。また、卒業生は都会志向が強く地元に残る割合が低下しているため、当医療圏に従事する看護師はそのほとんどが45歳を超えており、近い将来、より深刻な事態を迎えることが予想される。

### 3. 計画本文への記載内容

回答内容を踏まえ、以下のとおり計画に記載してはどうか。

#### コ 秩父区域

初期救急、在宅医療、公衆衛生、介護認定審査全てに不足感が強い。

<参考>計画変更素案 本文 P. 25

#### (3) 各区域において不足している外来医療機能

本県では、各区域の協議の場を活用して、区域ごとの外来医療機能の不足感について意見聴取を行いました。

提出された意見に基づき、夜間や休日等における初期救急医療、在宅医療、産業医・学校医・予防接種等の公衆衛生や、介護認定審査に係る医療提供体制の4項目について、区域ごとの状況を取りまとめました。

これらの項目以外の意見については、県ホームページで情報提供します。